

東日本大震災・原子力災害 第2回 学術研究集会プログラム

2024年(令和6年)3月19日(火)～20日(水)

会場：コラッセふくしま 4階 (福島県福島市三河南町1番20号)

3月19日(火)

09:30 受付開始(名札配布、出欠確認)
10:00-12:00 口頭発表(セッション1) [A・B会場]
13:00-13:10 主催挨拶 [A会場]
13:10-15:10 口頭発表(セッション2) [A・B・C会場]
15:20-17:40 口頭発表(セッション3) [A・B・C会場]

3月20日(水)

09:30 受付開始(名札配布、出欠確認)
10:00-12:00 口頭発表(セッション4) [A・B会場]
13:00-14:20 口頭発表(セッション5) [A・B・C会場]
14:50-16:10 口頭発表(セッション6) [A・B会場]

A会場 4階 多目的ホール
B会場 4階 中会議室
C会場 4階 小会議室402

19日(1日目)

座長(案)	開始時刻	氏名	所属	発表題目	
1 A					
午前・A会場	10:00	コミュニケーション	関谷 央子	会津若松市 地域学協働活動推進員	震災遺産と問い
午前・A会場	10:20	コミュニケーション	弓山 達也	東京工業大学	いのちの教育と震災伝承施設—スピリチュアリティの観点から—
午前・B会場	10:40	コミュニケーション	奥山 泰牙	福島大学 共生システム理工学類	福島県浜通りにおいて3.11復興学習に取り組む高校教員の現状分析
午前・A会場	11:00	コミュニケーション	浦山 郁	関西大学大学院 社会安全研究所	福島第一原子力発電所の廃炉作業への態度構築に関する研究 —リスク認知及び信頼の規定因と感情的イメージ—
午前・A会場	11:20	コミュニケーション	齋藤 玲	東北大学 災害科学国際研究所	日本におけるPFA(心理的初期対応)に関する研究の動向と展望 —和文雑誌のレビューを通して—
午前・A会場	11:40	コミュニケーション	葛西 優香	東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院学際情報学府	「ふくしまボイス」報告 —安全な対話の場は浜通りに何をもたらすか—
1 B					
午前・B会場	10:00	行政対応	飯塚 明子	宇都宮大学 留学生・国際交流センター	原子力災害対策の課題と今後の方向性 —茨城県の大学生を対象とした防災意識調査をもとに—
午前・B会場	10:20	行政対応	猪鼻 真裕	一橋大学大学院 言語社会研究科	日本における原子力施設の廃止措置の歴史とシステム工学的発想の隆盛
午前・B会場	10:40	行政対応	中尾 虹海	福井大学大学院 工学研究科	東電福島第一原発事故の放射線防護対策における課題の検証(1)
午前・B会場	11:00	行政対応	吉田佳乃子	福井大学大学院 工学研究科	東電福島第一原発事故初期の時空間情報統合による住民避難計画の検証
午前・B会場	11:20	行政対応	谷山 勇士朗	福井大学大学院 工学研究科	学校の原子力防災(1)
午前・B会場	11:40	コミュニティ	坂口 奈央	岩手大学 地域防災研究センター	なぜ津波被災者は海に向かうのか—災害の儀礼より—
2 A					
午後I・A会場	13:10	コミュニティ	小原 直将	関西学院大学大学院 社会学研究科	復興まちづくりの議論において「放射線」はいかなる存在か —福島県双葉郡双葉町の実験的復興まちづくりの科学社会的分析—
午後I・A会場	13:30	コミュニティ	谷山 昌子	東京工業大学大学院 博士後期課程	民俗芸能の継承—福島県請戸の田植踊りを事例に—
午後I・A会場	13:50	コミュニティ	楊 凌煙	大阪大学大学院 人間科学研究科	福島県浜通り地域の移住者への移住原因に関する分析
午後I・A会場	14:10	行政対応	中丸 和	大阪大学大学院/日本学術振興会特別研究員	東日本大震災時における教員配置に関する研究
午後I・A会場	14:30	行政対応	李 昕翹	東北大学大学院 情報科学研究科	災害福島県議会における議員活動の定量化:BERTopicモデルによる追跡分析の試み
午後I・A会場	14:50	行政対応	草野 日向子	京都大学大学院	原子力災害における広域避難について
午後I・A会場	15:10	行政対応	関谷 直也	東日本大震災・原子力災害伝承館/東京大学大学院情報学環	東京電力福島第一原子力発電所事故のALPS 処理水放出と合意形成
2 B					
午後I・B会場	13:10	放射線影響・健康	中村 美緒	東北大学大学院 医学系研究科	原子力災害時に体表面汚染検査(指定箇所)を行う装置の基礎性能評価
午後I・B会場	13:30	放射線影響・健康	山本 知住	福島県立医科大学 放射線健康科学講座	災害関連死基準から得る災害の2次的健康影響への教訓
午後I・B会場	13:50	コミュニケーション	中山 千尋	福島県立医科大学 医学部	福島原発事故後の風評被害 —情報リテラシーの重要性—
午後I・B会場	14:10	コミュニケーション	丁 可	東京大学大学院 学際情報学府	中国における処理水放出反対言説の継続的な研究
午後I・B会場	14:30	コミュニケーション	ボク シンテツ	東京大学大学院 学際情報学府	中国人のALPS 処理水海洋放出と日本商品の消費に対する態度 —海洋放出から半年後のアンケート調査に基づいて—
午後I・B会場	14:50	コミュニケーション	松永 妃都美	長崎大学 原爆後障害医療研究所	大熊・富岡町住民の処理水の海洋放出に対する不安に関連する要因
午後I・B会場	15:10	コミュニケーション	除本 理史	大阪公立大学 大学院経営学研究科	「困難な過去」の継承と多視点性:原子力災害と公害を架橋して考える
2 C					
午後I・C会場	13:10	放射線影響・健康	田野 久貴	元日本大学、バムツレ大学名誉教授	事故後10数年の環境放射線探索システム構築の試み
午後I・C会場	13:30	放射線影響・健康	林 衛	富山大学 科学コミュニケーション研究室	原発の存在が科学を歪めている
午後I・C会場	13:50	放射線影響・健康	伊藤 浩志	フリースランス	ALPS処理水海洋放出で見過ごされている深刻な健康リスク
午後I・C会場	14:10	放射線影響・健康	石川 洋行	八洲学園大学	あれから12年、科学的基準の無視と分断される地域社会—原発事故以後の科学的認識の歪みとその政治的構造化について—
午後I・C会場	14:30	放射線影響・健康	瀬川 嘉之	高木学校	アンスクエアに代わる放射線科学とICRPに替わる放射線防護
午後I・C会場	14:50	放射線影響・健康	八巻 俊憲	元福島県立田村高等学校	福島原発事故と市民性
3 A					
午後II・A会場	15:40	行政対応	佐田 務	原子力学会誌編集長	豊かさや便利さの復讐—福島原発事故が問いかけるもの
午後II・A会場	16:00	行政対応	岡野 悠太郎	東北大学	東日本大震災前後の日本の米に関する政策変遷—国会議事録に注目して—
午後II・A会場	16:20	行政対応	大坂 恵里	東洋大学	除去土壌の再生利用の問題点—環境法の視点から—
午後II・A会場	16:40	コミュニティ	佐々木 大記	筑波大学大学院/産業技術総合研究所	原子力災害被災地域における復興と住民の主体性—「かわまた田んぼリンク」を事例として—
午後II・A会場	17:00	コミュニティ	吉田 久仁子	和泉短期大学	ホーブツーリズムからみた南相馬市の保育士不足と神奈川県保育者養成校の課題と展望
午後II・A会場	17:20	コミュニティ	外柳 万里	大阪公立大学	支援からみる生活再建の地域差に関する考察—岩手県の沿岸と内陸の比較—
午後II・A会場	17:40	コミュニティ	静間 健人	東日本大震災・原子力災害伝承館	ふくしまの民俗芸能に関する情報の発信—3.11後の地元新聞を分析の対象として—
3 B					
午後II・B会場	15:40	コミュニケーション	海老名 悠希	常盤大学/YKストレスケアオフィス	保育職と協働する心理職が有事に貢献すべきは急性ストレス対策ではない —緊急スクールカウンセラー派遣事業におけるケース分析から—
午後II・B会場	16:00	コミュニケーション	福西 理紗子	東京大学大学院 学際情報学府	チャリティー番組の番組内容、視聴率・寄付額に対する災害の影響—『24時間テレビ』を事例として—
午後II・B会場	16:20	コミュニケーション	柳瀬 一樹	東京大学大学院 学際情報学府/株式会社アンネル	いかにして能登半島地震に際してチャリティーアニメ配信は実現したのか? —『花咲くいろは』を事例として—
午後II・B会場	16:40	コミュニケーション	矢内 真理子	同志社大学 人文科学研究科	福島第一原子力発電所事故とマスメディア
午後II・B会場	17:00	コミュニケーション	石橋 真帆	東京大学大学院 学際情報学府	東京電力福島第一原子力発電所事故に関する解釈の具体性に関する検討
午後II・B会場	17:20	コミュニケーション	柏崎 佑哉	長崎大学原爆後障害医療研究所	放射線リスク認知に対する知識とリスクリテラシーの関連における地域差
午後II・B会場	17:40	コミュニケーション	山田 修司	東日本大震災・原子力災害伝承館	受容可能なリスクと感情のナラティブに関する検討
3 C					
午後II・C会場	15:40	放射線影響・健康	山田 裕	量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所	マウスにおけるガンマ線照射後の甲状腺病変誘発の線量率効果について
午後II・C会場	16:00	放射線影響・健康	今岡 達彦	量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所	なぜ被ばくがゆっくりにと放射線がんリスクは低めになるのか —実験と数値モデルを組み合わせた検討—
午後II・C会場	16:20	放射線影響・健康	山村 桃花	福島県立医科大学 放射線健康科学講座	福島原発事故後に災害関連死と認定された在宅酸素療法患者の困難:症例報告
午後II・C会場	17:00	放射線影響・健康	弓削 湧輔	福井大学大学院 工学研究科	原子力災害避難時における甲状腺被ばく線量モニタリングの実現性の検討(2)
午後II・C会場	16:40	放射線影響・健康	阿部 暁樹	福島県立医科大学 医学部 放射線健康科学講座	東日本大震災後の仮設住宅入居が高齢者の身体機能に及ぼす長期的影響
午後II・C会場	17:20	産業	山川 充夫	福島大学(名誉教授)	原発避難指示解除と中小商工業再興—南相馬市小高区の事例—
午後II・C会場	17:40	産業	藤本 典嗣	東洋大学 国際学部	銀行券受取高変化からみる地域金融構造:福島における震災避難者数減少の影響

20日(2日目)

座長(案)	開始時刻	氏名	所属	発表題目	
4 A					
午前・A会場	10:00	コミュニティ	岡田 陽介	拓殖大学	東日本大震災における震災追悼式の継続と震災遺構の保存—社会関係資本は合意形成をもたらすのか
午前・A会場	10:20	コミュニティ	柴田 純	弘前大学	福島県浜通り地方における震災遺構の整備プロセスについて
午前・A会場	10:40	コミュニティ	山崎 真帆	東北文化学園大学	津波被災自治体の復興と移住者:元ボランティアの実践に着目して
午前・A会場	11:00	コミュニティ	服部 正幸	福島大学農食学類	原子力災害被災地における避難指示解除後の暮らしの実態と生活再建の課題-双葉郡葛尾村における全戸訪問世帯調査を通して-
午前・A会場	11:20	コミュニティ	橋 清司	東京大学大学院	2011年東北地方太平洋沖地震・福島原発事故に伴う市町村復興計画の巨視的分析 —福島県の行政機能移転9町村を対象にして—
午前・A会場	11:40	コミュニティ	小林 秀行	明治大学情報コミュニケーション学部	多重被災における「けいねさ」—東日本大震災および福島県沖地震を事例として—
4 B					
午前・B会場	10:00	放射線影響・健康	田辺 真子	東北大学大学院医学系研究科	新たな全身体表面汚染検査装置の基礎性能検討
午前・B会場	10:20	放射線影響・健康	松谷 亮	新潟県原子力安全対策課	福島第一原子力発電所事故に伴う新潟県内の放射線等の監視調査結果
午前・B会場	10:40	放射線影響・健康	緒方 良至	愛知医科大学	ストロンチウム吸着剤を用いた海水・陸水中の放射性ストロンチウムの迅速測定法
午前・B会場	11:00	放射線影響・健康	山崎 健司	関西大学大学院	死亡時期別に見た災害関連死発生プロセスの違い
午前・B会場	11:20	放射線影響・健康	山本 啓介	東北大学大学院 医学系研究科	プラスチックシンチレーションサーベイメータの検出能に関する検討 —GMサーベイメータとの比較—
5 A					
午後I・A会場	13:00	コミュニケーション	池辺 靖	板橋区立教育科学館	東京の科学館における3.11とリスクについての対話活動
午後I・A会場	13:20	コミュニケーション	筑波 匡介	福島県立博物館	博物館の防災講座—震災遺産を活用した防災教育について—
午後I・A会場	13:40	コミュニケーション	佐藤 公	磐梯山噴火記念館	13年前の福島県の原子力災害を全国へ伝える
午後I・A会場	14:00	行政対応	牧口 奏江	東京大学	技術士「原子力・放射線部門」制度化過程の分析
午後I・A会場	14:20	行政対応	小山 智加	株式会社構造計画研究所	日本の原子力災害の広域避難計画策定における避難時間推計の活用と発展
5 B					
午後I・B会場	13:00	放射線影響・健康	刘 梦潔	Nagasaki University	Temporal variations of environmental radioactivity and exposure doses in Futaba and Okuma Towns
午後I・B会場	13:20	放射線影響・健康	肖 旭	長崎大学原爆後障害医療研究所	Impact of evacuation destination on long-term evacuees of Futaba town, the site of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: Survey results at 12 years post-
午後I・B会場	13:40	放射線影響・健康	ZABIROVA Aizhan	Nagasaki University, Atomic Bomb Disease Institute	Thyroid Ultrasound Findings in Young and Middle-aged Adults Living in the Region of the Chernobyl Nuclear Power Plant
午後I・B会場	14:00	放射線影響・健康	木保 真波	関西大学社会安全学部	災害関連死による犠牲者を取り巻く関係者に関する検討
午後I・B会場	14:20	放射線影響・健康	中島 祝	関西大学社会安全学部	口腔保健問題と災害関連死の関係に関する一考察
5 C					
午後I・C会場	13:00	災害対応	中原 志帆	京都教育大学附属京都小中学校	大同伴避難が被災者に及ぼした実情
午後I・C会場	13:20	災害対応	高橋 佑介	関西大学大学院 社会安全研究科	避難開始の論理的判断と直感的判断の違いを考慮した避難行動開始のタイミングに関する一考察
午後I・C会場	13:40	災害対応	瀬戸 真之	東日本大震災・原子力災害伝承館	東北地方太平洋沖地震における津波による防潮堤の破壊と海底地形との関係
午後I・C会場	14:00	災害対応	久世 真侑子	関西大学社会安全学部	津波避難の判断基準に関する一考察:意識調査と実災害の比較
午後I・C会場	14:20	災害対応	小島 楓	福島大学農食学類	災害時の避難所での食事提供とキッチンカー活用の実態と課題
6 A					
午後II・A会場	14:50	産業	阿部裕々子	福島大学農食学類	酒蔵経営と地域との関係性による経営成果
午後II・A会場	15:10	産業	藤澤 弥栄	福島大学農食学類	東日本大震災被災地域における農業生産と農産物市場の変化—いわき市中央卸売市場を対象として—
午後II・A会場	15:30	産業	根本 冨己	東京大学教養学部理科一類	福島復興を再考する —双葉町・大熊町・富岡町・浪江町の飲食店事業者の語りから—
午後II・A会場	15:50	産業	遠藤 瑠乃	福島大学農食学類	福島県の日本酒における需給の課題と流通戦略の再構築—東日本大震災前後を対象として—
午後II・A会場	16:10	産業	林 薫平	福島大学大学院 食農科学研究科	相馬松川浦のアオサノリ養殖事業の復興に向けた産学連携アプローチ
6 B					
午後II・B会場	14:50	コミュニケーション	林 智裕	フリースランス	『風評被害』という概念はいかに誕生し発展してきたのか—何が風評を発生温床させてきたのか—
午後II・B会場	15:10	コミュニケーション	宇野 賢津子	(公財)ルイ・バストゥール医学研究センター	SNS時代の科学的情報発信法の提案:ホームページの作成とその効果の検証に向けて
午後II・B会場	15:30	コミュニケーション	石井 晴音	福島県立須賀川創英館高校	何が災害伝承を可能にするのか
午後II・B会場	15:50	コミュニケーション	井上 天凱	成城学園高校	震災記憶消滅世代の東日本大震災・原発事故に対する認識の現状と課題
午後II・B会場	16:10	コミュニケーション	越山健治	関西大学社会安全学部	災害伝承媒体における「樹木」の意味